

## 第2回 学校運営協議会 議事録

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 日時   | 令和8年9月10日（木）14:20～16:00 |
| 主な議題 | 前期学校評価の結果を受けた改善策について    |

### 1 開会：会長、校長挨拶

- 夏季の熱中症対策として、暑さ指数の確認や室内活動場所の確保（町体育館の借用）等を行い、部活動の活動環境を整えたことが報告された。
- 夏休み中の学習見守り（函スタ）や草刈り等、地域・委員の協力への謝意が示された。
- 9月に入り学校生活のリズムが戻り、蒼龍祭に向けた合唱練習を通して各学年の成長が見られるとの報告があった。

### 2 議事 「前期学校評価の結果を受けた改善策について」

#### （1）学校からの報告

- 1学期末に、生徒・保護者・教員の三者を対象に学校評価アンケートを実施した。生徒用設問は、前年度の意見を踏まえ、より理解しやすく回答しやすい表現に見直した。
- 「安心して学校生活を送れている」「学校が楽しい」に関する生徒の評価は高く、対話的・協働的な授業づくりやICT活用、情報モラルへの意識も成果として捉えられている。
- 家庭学習については、生徒73.6%、保護者60.0%、教員73.1%と認識に差が見られた。今後は単に量を課すのではなく、「目的・方法・振り返り」を意識した主体的な家庭学習へ転換していく方向が示された。
- 読書については、生徒82.8%、保護者47.1%、教員82.0%であった。全校で朝読書の時間（10分間）を徹底した成果が生徒・教員の評価に表れている。一方、家庭への伝わり方に課題がある。
- ふるさと・地域学習は、1年生の郷土・キャリア学習、2年生の職場体験やシヅクリ、3年生の町への提言等を経年的に実施しており、改善傾向にある。

#### （2）協議 ①学校教育目標・学校の取組を地域・保護者に伝える方法

- 授業参観の様子から、生徒が伸び伸びと自主的・自律的に学んでいることが評価された。一方、学校の取組や成果が保護者に十分伝わっていない面があるとの意見が出た。
- 学校教育目標や重点目標は、一度知らせるだけでは浸透しにくいとため、繰り返し提示・発信していくことが必要との意見があった。
- マチコミは保護者が確認しやすいとため、写真を含む学校生活の情報発信に活用する案が出た。朝読書等、家庭から見えにくい取組を発信することで、家庭での会話にもつながるのではないかと意見があった。

- 一方で、マチコミは防災・緊急連絡の役割もあるため、情報量が増え過ぎると重要情報が埋もれる懸念も示された。メールタイトルに「重要」「連絡」等の表示を使い分けると、ホームページと役割を分けることが提案された。
- 現在、マチコミから学校ホームページへアクセスできるようリンクを付していることが説明された。ホームページは長期的に残す情報、マチコミは即時性の高い情報とするなど、媒体ごとの整理が有効との意見があった。
- 学校側の情報発信はすでに相当程度行われており、発信を増やすだけでなく、保護者・地域が受け取る側の工夫や、子ども自身が家庭で学校の様子を話すことも大切との意見があった。

### (3) 協議 ②家庭学習を定着させるための支援

- 家庭学習や読書は、家庭で実際に取り組む姿を保護者が見られないことも多く、学校・生徒と保護者の評価差の一因になっているのではないかととの意見があった。
- タブレットやPCを使った学習、友人とオンラインで相談しながら行う学習など、従来とは異なる学び方が増えており、保護者からは学習しているかどうか判断しにくいとの声があった。
- 「量」から「目的・方法・振り返り」へ転換する方向には理解が示された一方、生徒が何をすればよいか分からなくならないよう、具体例や学習方法の指導、教員からの助言など初期段階の支援が必要との意見があった。
- 完全に自由にするのではなく、「授業の振り返り」「必要に応じた練習プリント」など、一定の方向性や目安を示すことも必要ではないかととの意見があった。
- 主体性を重視しつつも、基礎学力の定着に必要な一定量の学習とのバランスを検討する必要があるとの意見が出された。

### (4) 協議 ③安心して過ごせる環境づくりと地域を含めた見守り・支援

- 地域行事への中学生の参加が増え、地域住民と生徒の距離が縮まること自体が見守りにつながるとの意見があった。
- 祭り、清掃活動、防災訓練などに中学生が参加する際は、単に参加を促すだけでなく、受付、物資の仕分け、通信対応、搬送訓練等の具体的な役割を持たせることで、「地域の一員」としての自覚や参加意義が高まるとの意見が複数あった。
- 地区によって子ども会や保護者同士のつながり、行事への参加状況が異なるため、各地区の実情に応じた学校との連携が必要である。
- 学校だより等を地域の回覧に活用することで、在校生のいない家庭にも学校の様子を伝えられるとの事例紹介があった。
- 地域の文化祭・区民祭への中学生の作品展示、河川清掃等への参加など、多世代交流や地域貢献につながる取組の提案があった。

- 大雨等の非常時に生徒が早めに下校する場合などは、学校連絡だけでなく町の広報・メール等も活用し、地域住民にも情報を伝えることで見守りの目を増やせるとの意見があった。校長から、校長会で話題にし、町への協力依頼を検討したい旨が示された。

#### (5) 協議 ④読書・ふるさと学習の充実と地域人材の活用

- 読書やふるさと学習は学校・町の取組として進めているが、家庭には実際の活動が見えにくい。授業参観等、保護者の来校機会に取組を紹介する方法が提案された。
- 地域には学校が把握していない人材や協力可能な方がいると考えられるため、委員からの紹介も含め、地域人材の発掘・活用を進めることが望ましいとの意見があった。
- 3年生の町への提言について、町の計画等に反映された場合は「どの提言がどのように生かされたか」を生徒へフィードバックすると、学習の意義が高まるとの意見があった。町の総合計画策定担当部署へこの趣旨を伝えること、発表会等の案内を委員にも共有することが話題となった。

### 3 その他・連絡事項

#### (1) グリーンボランティア

- 本校がソフトテニス大会の会場となるため、テニスコート周辺の草刈りについて、9月18日までに協力可能な方を募集する。→委員で計画していく。
- 10月10日のPTA奉仕作業に向け、ソフトボール場周辺等を事前に草刈りをお願いしたい。→委員から協力の申し出があった。

#### (2) 制服の検討

- 現行のセーラー服・詰襟服を廃止するのではなく、第三の選択肢としてブレザータイプの制服を追加する方向で検討していることが説明された。
- 女子生徒のスラックス導入、男女兼用で兄弟姉妹間でも引き継ぎやすい仕様等が検討されている。今後デザインを詰め、保護者・児童生徒（小学生含む）への周知を行う予定で、委員にも意見を求めた。
- 導入年度等は令和10年度（現小5年生）から。

#### (3) 次回の学校運営協議会

- 次回は10月23日（金）に、蒼龍祭体育の部を見学後、校内で会議を実施する予定。
- 今回十分に扱えなかった議題についても次回取り上げる。
- 昼食を学校側で用意する予定で、不要の場合は事前に連絡することが確認された。